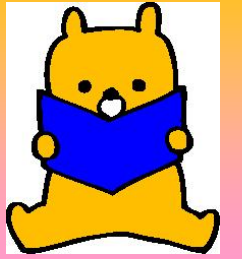




夏のオススメ本紹介

YA担当より

毎日暑くて何もする気にならない…という人も、本を読んで夏を存分に味わっちゃいましょう！ここに紹介した本以外にも、色々なジャンルをヤングコーナーに揃えていますので、ぜひ図書館に足を運んでみてくださいね！



①

南の島で

石津 ちひろ／文
原 マスミ／絵
偕成社
YA書架 Eハ



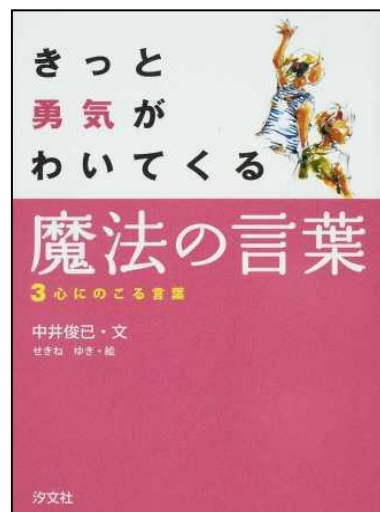
「ぼく」がまだ子どもだった頃、夏休みに何日間か過ごした南の島での出来事。海に浮かんで波の音を感じたり、浜辺で色とりどりのガラスを拾ったり、浜辺に寝そべて満点の夜空の星を眺めたり…。島に住むももさんと一緒に過ごした自由で自然体な日々が、鮮やかな色彩で描かれています。

なぜか懐かしくなるような忘れられない夏休みを感じることができるおはなしです。

②

きっと勇気がわいてくる 魔法の言葉 3

中井 俊己／文
せきね ゆき／絵
汐文社
YA書架 159+



『「ありがとう」は幸せを運ぶ魔法の言葉。
「ありがとう」の数ほど幸せになる。』
—本文より

言葉には不思議な力がありますね。何かに悩んだとき、落ち込んだとき、この本を手にとり読んでみませんか。

あなたの心にある不安や暗い気持ちを和らげてくれるかもしれません。

③

中学生の夢 -47都道府県 47人の中学生の夢-

日本ドリーム
プロジェクト／編
いろは出版
児童書架 376千



日本全国の中学生の夢を集めた一冊。親や兄弟、地域の人達との交流、過去や今のことなど、実際に自分が体験・感動したことが「夢」につながることを改めて感じます。中学生は今夢見ることの参考に、ちょっと年上になった人は初心にかえる気持ちで読める本です。

日本ドリームプロジェクトからは「1歳から100歳の夢（一般書架 816.8イ）」なども刊行されています。

④

くらのかみ

小野 不由美／著
講談社
児童書架 913オ



夏休みに入り、6年生の耕介は父親と一緒に亡くなった母の本家へと向かいます。大伯父の跡継ぎを決めるため、遠く離れた山の麓^{ふもと}にある立派な屋敷に親戚が集められます。大人たちが話し合う間、奥座敷で「四人ゲーム」を始めた子どもたちは異変に気付きます。次々に起こる不可解な出来事は、祟り^{たたり}か事件か…。

親を守るため、子どもたちが真相に迫る本格ミステリーです。謎解きだけでなく、大切なものとは何か、改めて考える1冊です。